

様式12（両面印刷）【記入例】

調査書

| | | | | | | |
|----------|---------------------|---|----|------------|--|------------|
| 入学願の受付番号 | ふりがな 氏名 | | 性別 | | 生年月日 | 平成 年 月 日 生 |
| | 学校名 | 立 | 学校 | [令和 年 月] | <input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込み | |
| | 中学校 3年次の 在籍学級 | 個別支援学級 : <input type="checkbox"/> 一般学級 <input type="checkbox"/> 重複障がい学級 中学校 : <input type="checkbox"/> 知的障がい学級 <input type="checkbox"/> 自閉症・情緒障がい学級 <input type="checkbox"/> [] 学級 <input type="checkbox"/> 通常の学級 通級による指導 [<input type="checkbox"/> 受けている、 <input type="checkbox"/> 受けていない] | | | | |

※該当するところに☑を付け、必要に応じて〔 〕に記入すること。

1 学習の記録（履修及び習得の状況）

| 教科 | 履修内容 ※複数該当する場合には主なものを一つ選択 | | | | | 習得状況 | |
|----|------------------------------|--------------------------------|----------------|-------------|-------------|-----------------------------------|---|
| | 内容の理解度 ※該当番号に○ | 具体的な状況 ※履修学年又は小中学部の段階を必ず記入。 | | | | | |
| 国語 | 当該学年 (中3年) | 下学年 (中2, 1年) | 下学年 (小6-1年) | 知的 (中学部) | 知的 (小学部) | 1 おおむね理解 2 部分的に理解 3 ごく一部を理解 | ① 履修学年、段階 「○学校(学部)○学年(段階)を履修。」 ② 習得状況 「○○について△△ができる。」「○○の△△ができつつある。」等、どの内容がどの程度習得(理解)できたか記入する。 (例) - 4年生までの漢字の読み書きができる。 - 一次方程式を解くことができつつある。 - 日なたと日陰の地面の温度を測り、暖かさの違いに気づくことができた。 |
| 社会 | 当該学年 (中3年) | 下学年 (中2, 1年) | 下学年 (小6-1年) | 知的 (中学部) | 知的 (小学部) | 1 おおむね理解 2 部分的に理解 3 ごく一部を理解 | |
| 数学 | 当該学年 (中3年) | 下学年 (中2, 1年) | 下学年 (小6-1年) | 知的 (中学部) | 知的 (小学部) | 1 おおむね理解 2 部分的に理解 3 ごく一部を理解 | |
| 理科 | 当該学年 (中3年) | 下学年 (中2, 1年) | 下学年 (小6-1年) | 知的 (中学部) | 知的 (小学部) | 1 おおむね理解 2 部分的に理解 3 ごく一部を理解 | |

2 学校生活の様子

※生徒の興味・関心等を具体的に記入すること。

| |
|--|
| |
|--|

3 総合所見及び指導上参考となる事項

| |
|--|
| |
|--|

4 出欠の記録

| 学年 区分 | 1年 | 2年 | 3年 |
|----------------|----|----|----|
| 出席しなければならない日数 | 日 | 日 | 日 |
| 欠席日数 | 日 | 日 | 日 |
| 備考 (欠席の理由等) | | | |

※卒業見込み者は、3年次は11月末までを記入すること。

5 必要な配慮や支援に関する事項

| | 項目 | 必要な配慮や支援 ※行っている配慮や支援又は必要とされる配慮や支援を記入する |
|-----------|------------|---|
| 健康面 | 健康状態・生活リズム | (例) 服薬の状態を朝から確認する。 |
| 学習場面 | 板書の理解 | (例) 見えやすいように前方へ座席を配置する。 |
| | 説明の理解 | (例) 絵カードや文字カードを使用する。 |
| | 注意・注目 | (例) 視覚的刺激軽減のため掲示を減らす。 |
| | ノートテイク | (例) 枠付きノートを使用する。 |
| | 制作・実験・実習 | (例) 工程をフローチャートで示す。 |
| | 屋外活動 | (例) 事前に活動場所の確認と確保をする。 |
| 生活場面 | 食事 | (例) 底部に滑り止めのある食器を使用する。 |
| | 排泄 | (例) 定時言葉を掛ける。 |
| | 着替え | (例) 表裏、前後を確認する。 |
| | 衛生・清潔 | (例) 身だしなみを整えるための姿見を活用する。 |
| | 移動 | (例) 補装具を使用する。 |
| コミュニケーション | 意思表示 | (例) I C T 機器を活用して意思を確認する。 |
| | 内容理解 | (例) 内容理解のための時間を十分確保する。 |
| 集団活動 | 参加 | (例) 集団内での役割分担を明確にする。 |
| | 対人 | (例) 他人の批判に関わることは話さないように確認する。 |
| | 情緒 | (例) 情緒が不安定などきに落ち着くことができる場所を確保する。 |

☆「〇〇を△△する」
「〇〇するため△△
する」等、明記する。
☆必要ない場合は「該当
なし」と記入する。

本書の記載事項には誤りのないことを証明します。

令和 年 月 日

学校所在地

学 校 名

校 長 氏 名

記載者職氏名

職印

印